

環境社会配慮助言委員会

第181回 全体会合

日時 2026年8月3日（月）14:00～14:43

場所 JICA本部2階202会議室及びオンライン

（独）国際協力機構

助言委員

東 佳史	立命館大学 政策科学部・大学院 教授
阿部 貴美子	実践女子大学 人間社会学部／明治学院大学大学院 社会学研究科 非常勤講師
石田 健一	元東京大学 大気海洋研究所 海洋生命科学部門 元助教
奥村 重史	有限責任あずさ監査法人 パブリックセクターアドバイザー事業部 ディレクター
小椋 健司	元日本高速道路インターナショナル株式会社 元プロジェクト担当部長
鎌田 典子	一般財団法人 自然環境研究センター研究本部 上席研究員
衣笠 祥次	株式会社三菱 UFJ 銀行 経営企画部 サステナビリティ企画室 環境社会グループ 次長
源氏田 尚子	公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) 東京サステナビリティフォーラム フェロー
重田 康博	宇都宮大学 国際学部／国際協力 NGO センター 元教授／政策アドバイザー
清水谷 卓 (※)	周南公立大学 研究・地域・産学連携推進機構 准教授
鋤柄 直純	一般財団法人 自然環境研究センター研究本部 元研究主幹
鈴木 和信	日本大学 国際関係学部 教授
鈴木 克徳	金沢大学 環境保全センター 元教授・センター長
田辺 有輝	特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター (JACSES) 持続可能な開発と援助プログラム プログラムディレクター
谷本 寿男 (※)	恵泉女学園大学 人間社会学部 元教授
二宮 浩輔	山梨県立大学 国際政策学部 元教授
長谷川 弘	広島修道大学 名誉教授
林 希一郎 (※)	名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授
原嶋 洋平	拓殖大学 国際学部 教授
東 智美	埼玉大学 教養学部・大学院人文社会科学研究科 准教授

敬称略、五十音順

(※) 会議室参加

JICA

下川 貴生	審査部 部長
辻 研介	審査部 次長
池上 宇啓	審査部 環境社会配慮監理課 課長
西井 洋介	審査部 環境社会配慮審査課 課長

○池上 皆様、こんにちは。JICA審査部環境社会配慮監理課の池上と申します。

音声届いておりますでしょうか。もし届いておりましたら、何らかの形で、サインを送っていただけると幸いです。はい、ありがとうございます。

そうしましたら、まだ石田委員が入られておりませんが、時間になりましたので、第9期、第1回目の会合を始めさせていただければと思っております。

通常の助言委員会であれば、ここで一番最初に委員長に開会を宣言していただきますけれども、今回、助言委員会第9期の第1回目会合ということで、委員長選出前でございますので、僭越ながら私のほうで、まずは進行のほうを進めさせていただきます。その後、委員長が決定した段階で、新しい委員長に進行のマイクをお渡しさせていただければと思います。

まず、本日の出席者ですけれども、柴田委員と山岡委員からご欠席の連絡をいただいております、第9期総勢22名中20名のご参加で、今回開催させていただきます。また、リモートでご参加いただいております委員の皆さん多いですけど、今期から久々に委員になられました清水谷委員、それから谷本委員、林委員の3名に会議室のほうからご参加いただいております。

本日の流れですけれども、会合参加に当たってのお願い事項を、はじめにご説明させていただきます。今回、第9期の1回目ということで、JICA審査部部長、下川よりご挨拶をさせていただければと思います。

その後、委員の皆様をあいうえお順の名簿の順番に私のほうから名前を読み上げさせていただきますので、皆様より簡単に一言ずつご挨拶いただければと思っております。

そして、その後、委員長、副委員長の決定プロセスに移らせていただきます。

では、ほとんどの方にとっては毎回恒例ではございますけれど、改めて今回の会議進行に当たり皆様へのお願い事項を簡単にご説明させていただきます。

まず、画面に映しておりますけれども、全体会合については、全て逐語で議事録を作りまして、ホームページ上で公開しますので、その関係で名前を名乗っていただけてから、通常であれば委員長の指名を待って、また、委員長が決まるまではすみませんが、私のほうから指名させていただきますので、それを待って、コメントのほう、ご意見のほうをいただければと思っております。

また、これも議事録を作る関係で、音声かぶらないようにということで、他の方が発言されている際には、その発言が終わるのを待ってから、ご発言のほうをお願いできればと思います。

そして、会議室3名ご出席いただいておりますけど、マイクが1本しかなくて大変恐縮ですけども、発言される際にはそのマイクを使っただき、マイクの一番下に横にスライドするボタンがありますので、そちらをスライドさせて、緑に光った状態で発言のほうをお願いできればと思います。

また、オンライン参加者の皆様については、通常どおりハウリングを防ぐために、こちらのほうでミュート設定をさせていただいておりますので、発言される際にはミュートのを切って発言していただければと思います。

いつものお願い事項は以上となりますので、まずはJICA審査部部長、下川よりご挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○下川 審査部の部長をしております下川でございます。よろしくお願いいたします。着席にて失礼いたします。

第9期の助言委員会、初回ということで、全体会合冒頭ご挨拶のお時間いただきました。

今期ご就任いただきました委員の皆様におかれましては、深く御礼申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、先日7月13日には、事前のブリーフィングということで、そちらのほうにも多くのご参加をいただきました。ありがとうございます。

今期においては、前期から継続いただく20名の委員の方、また、新たにご就任いただく2名の委員の皆様、それぞれこのあとご挨拶を頂戴いたします。

JICAの業務に非常に重要であるこの環境社会配慮の審査において、貴重な助言を長年にわたりいただいていることを改めて感謝を申し上げますし、この委員会の体制を引き続き充実したものにしていけるべく、事務局としても努力してまいりたいというふうに思っております。

第8期からの組織の直面する変更点で申し上げますと、昨年、JICA法の改正がございました。そこでは様々な項目があるわけですが、一番私どもとして大きく変化を感じておりますのは、民間資金の動員をより進めていくという形でODAを活用していくということで、海外投融資の業務などの充実がうたわれているということで、今年度も債券の取得ですとか、様々な新しい業務にチャレンジしていくというような体制になっています。

そういった新しい業務の中で、環境社会配慮をどのように担保していくかといったことが、非常に組織としても大きな学びの時期に来ているということでございます。

また、2022年から施行されております現行環境社会配慮ガイドラインにつきましても、今年5年目ということで、ガイドラインの運用見直しのタイミングに来ております。今期の助言委員会での議論の中では、その運用の見直しについて、個別の議論を今年中、会を設定して、ご意見を頂戴していくことになっているということでございますが、こちらも大変重要な、次のガイドラインに繋げる議論というふうに理解しております。

皆様、先生方のご意見、お知恵をぜひ拝借したいというふうに考えておりますので、何とぞどうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますけれども、私のほうからの挨拶と代えさせていただきます。

このあと、委員長のご選任ということで、その新体制のもとで、ご指導いただければというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○池上 下川部長、ありがとうございました。

では、引き続きまして、9期委員にご就任いただいた皆様のご紹介をさせていただきたいと思えます。先ほど申し上げましたとおり、名簿順にお名前のほうを私のほうから読み上げますので、委員の皆様から一言ずつご挨拶いただく形でお願いします。

その際、カメラのほう、通信状況が許せばですけども、リモートの方についてはカメラをオンにさせていただけると幸いです。

では早速ですが、東委員、阿部委員、石田委員の順番で進めさせていただきますので、まず東委員お願いいたします。

○東（佳）委員 はい、7期、8期と連続させて務めさせていただきました東です。

カメラオフになってて申しわけございません。まだわからないことも多いですけど、よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

では、引き続きまして阿部委員、お願いいたします。

○阿部委員 はい、阿部と申します。

実践女子大学、明治学院大学、その他の大学で非常勤講師をしておりまして、専門は国際保健とジェンダーです。どうぞよろしくお願いいたします。

ちょっとカメラのほうが何か調子が悪くて申しわけございません。失礼します。お願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして石田委員、お願いします。

○石田委員 どうも皆様、こんにちは。長らく委員を務めさせていただいてます石田です。

専門はもともと水産でしたけども、そのあと生態系や社会調査まで範囲を広げて行っております。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして奥村委員、お願いします。

○奥村委員 はい、あずさ監査法人でディレクターを務めております奥村と申します。よろしくお願いいたします。

専門は途上国の廃棄物問題を専門にしております。また今期もよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして小椋委員、お願いします。

○小椋委員 はい、小椋と申します。

専門領域は非自発的住民移転とか、損失補償の関係です。よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして鎌田委員、お願いします。

○鎌田委員 はい、自然環境研究センターの鎌田と申します。

前回、第8期に続いて2期目となります。専門は組織名のとおりでなんですけど、自然環境や生物多様性保全を専門にしております。今期もよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして衣笠委員、お願いします。

○衣笠委員 はい、皆様、こんにちは。衣笠祥次と申します。

三菱UFJ銀行の経営企画部環境社会グループで次長を務めております。

専門分野については、赤道原則・インパクト投資原則など国際基準に準じた主にプロジェクトファイナンスのESデューデリ及びサステナビリティ開示になります。

これまでグローバルマーケット業務、シンジケーション業務にも、私自身は携わってきてまいりましたがけれども、現在は、特に気候変動とか、自然資本、人権、地域社会への影響など含む環境社会配慮全般を実務の中で見ております。

私に関しては第8期に続き、第9期の環境社会配慮助言委員を務めさせていただくことになりました。第8期では、多様な専門性を持つ委員の皆様との議論で、改めて開発協力における環境社会配慮

の重要性を学ばさせていただきました。第9期においても、民間金融機関の実務経験を踏まえまして、できるだけ現場感のある視点から議論に貢献できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして源氏田委員、お願いいたします。

○源氏田副委員長 はい、地球環境戦略研究機関（IGES）で客員研究員をしております源氏田と申します。

環境アセスメント、あるいは自然環境保全などに関する調査研究に従事しています。

2018年からJICAの環境社会配慮助言委員をしております。今期で5期目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして重田委員、お願いいたします。

○重田委員 重田です。

現在は宇都宮大学5年前に定年退職しましたが、いくつかの大学で非常勤講師、あと、国際協力NGOセンターで政策アドバイザーをしています。

主に専門はNGOの草の根協力、特にカンボジアでのNGOの参加型開発の研究をしていたり、あとはNGOと外務省の主に政府のパートナーシップの研究をしています。現在はNGO・外務省定期協議会のODA政策協議会のコーディネーターをしていたり、あと国際開発学会、こちらで足尾銅山の研究部会で鉱山開発の研究をしたりしています。

どうぞよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

名簿の順番ですと、次が柴田委員ですけど、柴田委員ご欠席ということで、続きまして、会場のほうから、清水谷委員、お願いいたします。

○清水谷委員 清水谷卓と申します。

現在、山口県の周南公立大学で准教授をしております。私は2018年の7月まで、この委員会の委員をさせていただいておりました。6年間させていただきました。

その後、民間の斜面防災の建設コンサル等をやっておりまして、そこで民間でしたので、一旦委員会を離れたんですけど、縁あってまた大学のほうに、今ポジション移りましたので、また助言委員会のメンバーにさせていただきました。

専門は以前からは、戦略的環境アセスメントの、特に住民参加の部分を専門としておりますが、民間企業で培ったものと言いますと、トンネルであったり、斜面であったりというところでの技術的なところは、かなりこの8年間でいろいろ培ってきたのかなと思っておりますので、そのあたりも助言の中に生かせれば良いなと思っております。

よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして鋤柄委員、お願いいたします。

○鋤柄委員 はい、鋤柄と申します。

私自身は、哺乳類を中心とした生物の生息状況調査をずっとやってまいりました。なので、社会関係ですとか、公害関係の部分が弱いところがありまして、毎回助言委員会は勉強の場として、利用させていただいております。今期もよろしくお願いいたします。

以上です。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして鈴木和信委員、お願いします。

○鈴木（和）委員 はい、日本大学で教員をしております鈴木和信と申します。

JICA職員を辞めて、今5年経ちますけれども、またこうやって西井さん、池上さんとお会いできて大変嬉しく思います。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして鈴木克徳委員、お願いします。

○鈴木（克）委員 はい、鈴木克徳と申します。

今年の6月で、これまで代表理事をしていた持続可能な開発のための教育推進会議というNPOの代表理事を辞めたので、タイトルを前職である金沢大学環境保全センター、元教授・センター長に改めさせていただきました。私も今回が2期目ということになります。

専門は、主に環境政策とか環境影響評価、国際環境協力といったものになります。よろしくお願いいたします。

以上です。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして田辺委員、よろしくお願いいたします。

○田辺委員 「環境・持続社会」研究センターというNGOに所属している田辺有輝と申します。

私は世銀、ADB、JBIC等の環境社会配慮制度、個別案件等の調査や提言活動を長年やってきております。本委員会については、10年ほど関わらせていただいておりますが、引き続きよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

続きまして、会場のほうから谷本委員、よろしくお願いいたします。

○谷本委員 はい、谷本です。

私は第1期から確か委員を続けていると思います。前回、前々回にもうやめようかとも思いましたが、しゃあないなあと思いながらこのように来てます。

専門は一応農業土木で、持続的な開発とかそういうことをやってますけれども、もう今はちょっと暇で暇でしゃあないもんですから、大学を、恵泉をやめてからずっとお寺回りをしております、四国を回ったり、福岡の88箇所、小豆島、そういうところをだいたい1,500箇所回って、500万円ぐらい使って女房に怒られています。今は今年の4月から東海道歩いておまして、そろそろ一番の難所の箱根の関所まで、箱根湯本から歩こうと思って、今一生懸命歩いています。

以上です。よろしくお願いいたします。

○池上 ありがとうございます。

では、引き続きまして二宮委員、よろしくお願いいたします。

○二宮副委員長 はい、二宮と申します。よろしくお願いいたします。

私も8期から続いての助言委員として、今回また参加させていただきます。

JICAの環境社会配慮には、2004年の最初に運用が始まった頃から関心を持って勉強させていただいております。この委員会では、本当に委員の皆様はもとより、JICAのスタッフの皆様、それから、調査団の皆様と一緒に議論に参加させていただきながら、大変勉強させていただきながら、関わらせていただいております。

引き続き、よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

引き続きまして長谷川委員、お願いいたします。

○長谷川委員 はい、長谷川でございます。皆さん、こんにちは。

私は、遠方広島から、約25年間この委員会に参加させてもらってきたんですけども、この度、先月、千葉のほうに移り住むということになりました。これからは千葉のほうから、時々は本部のほうにも行かせてもらったりして、もう少し頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

では引き続きまして、会場のほうから林委員、お願いいたします。

○林委員長 はい、林です。

名古屋大学未来材料・システム研究所に勤めております。専門は環境影響評価、実際に影響評価をいろいろパソコンとかAIとかを使いながらやっている評価と、それを環境政策にうまく生かしていくようなことをやっております。

助言委員会には多分10年ぐらいお世話になって、JICAの皆さん含めて、委員会の先生方にいろいろお世話になっております。

また引き続きよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

では、続きまして原嶋委員、お願いいたします。

○原嶋委員 はい、原嶋でございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

ちょっと今日は通信状態が必ずしも安定をしておりませんので、音声だけで失礼します。

私は大学で環境政策を教えておりまして、個人的な関心としては、アジアの国々の環境問題、あるいは環境対策に注目して勉強しております。よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

では、続きまして東委員、お願いいたします。

○東（智）委員 はい、はじめまして。今期から助言委員に着任いたしました東智美と申します。

所属は埼玉大学の教養学部人文社会科学研究科で、専門は開発社会学、それから東南アジアの地域研究を専門としております。主には東南アジアの大陸部、タイ、ラオスで小規模農民の土地資源利用であるとか、そこに影響を与える環境政策、それから住民の生計の変化についての研究をしております。

また、研究者になる前はメコン・ウォッチという環境NGOで長年勤めておりまして、特に東南アジア、ラオスに駐在して、住民参加型の森林保全事業の実施であるとか、それから、大規模なインフラ開発事業、特に水力発電事業のモニタリングなどを行っていました。

今回委員に着任するに当たって、ちょっと過去の記録を見たところ、10年以上前、2015年にラオスのセカタム水力発電事業が助言委員会に取り上げられた時に、オブザーバーとして参加させていただいたことが、助言委員会との関わりとしてあります。

まだ助言委員としてはわからないことがたくさんありますが、どうぞよろしくお願いいたします。
○池上 はい、ありがとうございます。

名簿では、山岡委員がリストの最後ですけれども、山岡委員から欠席のご連絡をいただいております。

ということで、今期の委員22名のうち、本日ご出席の20名の皆様からご挨拶いただきました。大変ありがとうございました。

では、引き続きまして、助言委員会の運営に当たっての委員長及び副委員長の選任のほうのプロセスに入りたいと思っております。

皆様、多くの方、ご存知のとおり、環境社会配慮助言委員会の設置要項では、委員長、副委員長を互選により選任するとされております。前回、前々回と同様に慣例に従いまして、まずは助言委員長の決定から始めさせていただければと思います。

今期の委員長について、自薦、他薦含めご意見のある方はご発言いただければと思います。リモートの方は挙手機能を使っただけだと幸いです。

早速、原嶋委員、お願いします。

○原嶋委員 原嶋でございます。

ご承知の方も多いと思いますが、前回まで私、委員長を務めさせていただきました。本当にいろいろご協力いただき、ありがとうございました。

私も年を重ねましたので、一人の人間が長くやることの弊害もございますし、委員会全体の若返りということも必要かと思えます。そこで次へバトンタッチをさせていただきたいと考えております。

これまで、副委員長として、委員会に多大な貢献をしていただきました林委員を、新しい委員長として推薦させていただきたいと思っております。

ご承知のとおり、林先生は環境アセスメントでは日本の第一人者でいらっしゃるし、学会でも重鎮でいらっしゃる、国際的にも活躍をされておりますので、適任だというふうに考えております。ぜひ皆様のご賛同をいただければ幸いです。

以上です。

○池上 原嶋委員、ありがとうございます。

ではまず、林委員、原嶋委員からご推薦ありましたけど、林委員のご意向としてはどうか、お伺いできればと思います。よろしくお願いいたします。

○林委員長 はい、林です。

原嶋前委員長からご指名いただきまして、大変ありがとうございます。

皆様のご賛同を得られるようでしたら、お引き受けさせていただきたいと思っておりますので、皆様のご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

ただ今、原嶋委員から林委員を推薦、そして林委員からは皆様の承認があればということでお言

葉をいただいたところでございますが、ほかの皆様、何かご意見などございますでしょうか。

今、会場のほう、谷本委員から、いいんじゃないですか、というお言葉いただきましたけど、ほかの委員の皆様、もし賛同いただけるようでしたら、Teamsの拍手機能とか、そういった形を使って。

ありがとうございます、早速、多くの皆様から、拍手のほうをいただきました。ありがとうございます。そうしましたら、ご異存なければ。

挙手されています重田委員、お願いします。

○重田委員 賛同させていただきます。手を挙げました。

以上です。

○池上 ありがとうございます。

では、皆様ご異存ないようでしたら、林前副委員長に今期委員長を務めていただくということで、お願いできればと思います。

では、林委員長より改めて委員長としてのご挨拶を一言いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○林委員長 はい、林です。この度はご賛同いただきまして、大変ありがとうございます。

前委員長の原嶋委員長のように円滑な進行ができるかどうかわかりませんが、皆様のご協力をいただければ大変ありがたいなと思ってございます。あと少なくとも2年、よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、引き続きまして、副委員長の選任に移りたいと思います。

副委員長は、設置要項上1名ないし2名について委員の互選により選任ということになっております。ただ、これまでの慣例上、2名選んでいただきまして、また、副委員長については、これまで、委員長が決定したあとに、委員長から一旦ご推薦の方がいればということでご意見いただいて、それから皆様からのご意見をいただくという形を取らせていただいておりますので、今回もそういった形で進められるとありがたいと思いますが、林委員長、もしそういった形で推薦の方がいるようでしたら、お願いできればと思います。

○林委員長 はい、副委員長としては、まずお一方目として、前委員会でも副委員長としていろいろご助力いただきました源氏田副委員長にお願いできたらなと思っております。

で、もう一人の方として、助言委員会、長い経験をお持ちの方ということで、二宮委員を推薦させていただければなと思ってございます。

○池上 はい、ありがとうございます。

たった今、林新委員長から、源氏田委員、二宮委員お二人について、副委員長にということで、ご指名、ご提案いただきました。

まず、ご指名のあった源氏田委員、二宮委員からお考えをお聞かせいただければと思いますが、まず源氏田委員、お願いできますでしょうか。

○源氏田副委員長 はい、源氏田です。

今、林委員長からご指名いただきまして、ありがとうございます。

委員の皆様のご賛同が得られるようでしたら、微力ですが、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

では、続きまして二宮委員、お願いできますでしょうか。

○二宮副委員長 はい、二宮です。

林委員長、お名前を挙げていただき、大変ありがとうございます。光栄です。

私も委員の皆さんのご賛同が得られるのであれば、一生懸命務めさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

源氏田委員、二宮委員から、ほかの皆様からのご賛同があればとのご意見をいただきましたが、この点について、皆様、ご意見ございますでしょうか。

もし特に異存ないようであれば、先ほどと同様に拍手等をお願いします。

ありがとうございます。多数拍手いただいていますので、皆様のご了解を得たと理解させていただければと思います。

そうしましたら、源氏田委員、二宮委員のお二方からも、先ほどご挨拶はいただいたばかりですが、改めて副委員長として、お言葉を一人ずついただければと思います。

まずは源氏田副委員長、お願いできればと思います。

○源氏田副委員長 はい、ただいま林委員長からのご指名により、また、助言委員会の委員の皆様のご支持により、副委員長を仰せつかりました源氏田です。

2022年から副委員長を務めさせていただいており、今期で3期目になります。今期はJICAの環境社会配慮ガイドラインの運用見直しもあり、忙しい1年となりそうですが、助言委員の皆様方、JICAの皆様方のご支援とご協力をいただきながら、副委員長の任務を果たしていければと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。続きまして、二宮委員、お願いできますでしょうか。

○二宮副委員長 はい、二宮でございます。

私は、JICAの環境社会配慮ガイドラインが立ち上がって、助言委員会が立ち上がった1期の時から、最初3期ほどまで務めさせていただきまして、間、所属を移ったりしたこともありましたが、少しインターバルをいただいて、また7期から関与させていただいております。

期間だけは長く務めておりますが、なかなか難しい環境社会配慮の問題に追いつくのに精一杯というような感じもありますが、ご経験豊富な林委員長、あるいは源氏田副委員長にいろいろ教えていただきながら、また、皆さんにご指導いただきながら、務めさせていただきたいと思います。

ぜひよろしくお願いいたします。

○池上 はい、ありがとうございます。

以上をもちまして、委員長、副委員長、互選のプロセスを了しました。円滑な進行にご協力いただきまして、大変ありがとうございます。また、新しい委員長、副委員長におかれましては、今後どうぞよろしくお願いいたします。

ではここで、委員長が決まりましたので、新委員長、林委員長にマイクのほうをお渡しさせていただきまして、議事進行、ここから先をお願いできればと思います。よろしいでしょうか。

○林委員長 はい、林です。池上さん、ありがとうございました。

それでは、議事に従いまして、2.ワーキングスケジュール確認というところに移らせていただきたいと思います。

これは通例どおり、8月、9月、10月までのスケジュールが載っております。ただ、今回はガイドライン運用見直しワーキングが予定されておまして、その出欠が事前に取りられたということで、皆さん手を挙げられた方はお名前が載っているかと思います。

その他9月までは〇がついているものは確認済みということで、10月以降はJICAのほうから、ご担当を一応割り振っていたということですので、これについて何か個別のことがあれば、後日、大石さんのほうにご連絡いただければなと思います。

何か特別ここでご発言があれば、挙手の上、お願いできればと思いますが、何かありますでしょうか。

JICAのほうから何か。

〇池上 事務局、池上です。

補足説明になりますけど、それぞれの週について委員の名前を振らせていただいておりますが、会合名が入ってないところがございます。これはこの日に開催する場合にはこのメンバーです、ということでありまして、実際にワーキングがその回に何も入らなければ、その回は流れていくという仕組みになってございます。

それから、これは全体会合の時点で議題がわかってるものについて、ワーキング名を書かせていただいておりますけども、全体会合の時点ではワーキング合が決まっておらず、その後に後でこの日にこのワーキングをしましょうと決まる場合もあり、その場合には、メンバーになっている皆様には会議招集という形で、新しい件名のワーキングを開催させていくこともありますので、その辺ご了解いただければと思います。

以上です。

〇林委員長 ありがとうございます。

その他、会場の方で何かご発言等、特にあれば、今よろしくをお願いします。

個人的なご都合、もしあれば、あとで事務局のほうにご連絡いただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。

特にないようですので、次の議題、ガイドライン運用見直しについてということで、議題の3(1)ということで、資料がワーキング日程表というのが出てございますけども、これはJICAのほうからご説明をお願いします。

〇西井 はい、ありがとうございます。

審査部事務局、環境社会配慮審査課長を務めております西井でございます。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

本日の議題1点、ガイドラインの運用見直しに関してのご相談です。これに関しまして、第9期入リズムな議論ができるように、今まで第8期の間に準備をいろいろと進めてまいりました。

今のところ議題の選定ですとか、日程ですとか、あと運用の仕方、共有事項、既に固めさせていただいて、準備が整っているところです。

第9期の皆様におかれてましても、先日のブリーフィングの際に、ここまでの進捗に関しては、ご報告をさせていただいているところですので、本日そこに関しては、割愛をさせていただければと

思っております。

本日、皆様に付議をしたいのが、主査の選定です。

主査の選定に関しましては、前回の全体会合の時も少しご説明をさせていただきましたが、各ワーキンググループ毎に主査を選定するという運用に関しては、通常のワーキンググループと同じことを想定しているんですが、なかなかワーキンググループの議題は取りまとめが難しいこともありますので、主査はある程度心づもりを持っていただく必要があるかと思い、前もって参加希望の方の中から選定をしておければと考えております。

通常、ワーキンググループの当日に互選で決めているかと思うんですが、このガイドライン運用見直しに関しては、前もって決めさせていただけると、お互いに心づもりができるかなということ です。

あと、議題もいろいろと難しいものでございますので、できれば経験ですとか、専門性等も踏まえて適任の方を選定いただければと考えているところです。

もともと出席希望者が揃ったところで、全体会合の中で議論して決めさせていただきたいということを申し上げておりましたが、先ほどのとおり、一通りおおよそ出席の見通しが立ちましたので、主査を本日ご相談できればと思っております。

とはいえ、なかなか先の予定というのは流動的かなと思いますので、本日、全部のワーキング会合の主査をというよりは、当面8月、9月、ですので最初の第4回まで1、2、3、4回のところまで主査を本日決めさせていただいて、各準備に取り掛からせていただくということで、お願いできればと思っております。

今画面に映っておりますのは、ワーキンググループの日程でございます。議題の流れ、あと、ワーキンググループの開催日に関しましては、従前ご報告の内容から変わっておりません。

唯一情報付け加えましたのが、全体会合の日程でして、通常と同じですが、ワーキンググループで議論した結果を全体会合でご報告いただく形になります。これも若干変動的ではあるかもしれませんが、今のところ想定している全体会合での報告のタイミングというのを、一応念のため、日程として仮置きをさせていただいているところです。

ですので、ワーキンググループで議論して、記載の全体会合をターゲットに報告をしていくということで進めさせていただければと思っております。

今、先ほど申し上げたとおり、第1回目から第4回目、8月24日、31日、9月18日、25日の4回の主査を本日決められればというふうに思っております。

主査の選定の方法に関しましては、これは通常のワーキンググループでも同様ですが、委員の皆様の間で、議論して決めていただけるとありがたいと思っております。自薦、他薦の中で、お名前を挙げていただいて、適宜決めていただけるとありがたいと思っております、ここは助言委員の皆様の議論にお任せをできればと思っているところでございます。

つきましては、ここのところ、第1回目から4回目の主査を決めていただきたいということで、一度、委員長の方にマイクをお渡しできればと思います。

よろしくお願いいたします。

○林委員長 はい、ありがとうございます。

では、ワーキング、8月24日、8月31日、9月18日、9月25日と、とりあえずこの4回分の主査です。

ワーク主査は、今日は全体会合なんですけれども、個別の限られた人数の中で、議論を行うという会議ワーキングでして、そこで議論を主導してまとめていただくというのが主査の役割ということになっていますので、この4回分について、主査をここで決めさせていただきたいと思っております。

先ほど話ありましたように、自薦、他薦ということで、まずご希望をお聞かせいただければと思いますが、どなたか自薦、他薦の方がおられればということですが、いかがでしょうか。

それでは、特に自薦、他薦がありませんでしたので、私のほうからご提案させていただきたいなと思っております。

8月24日、代替案検討の目的と要件ということで、第1回目なんですけれども、ここはぜひ前任の委員長、原嶋委員にぜひお願いできたらなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○原嶋委員 はい、原嶋ですけれども、お受けします。

○林委員長 はい、ありがとうございます。

それで、8月31日なんですけれども、不可分一体と派生的・二次的影響、累積的影響の解釈と要件というこちらなんですけれども、どなたか特にご希望がなければ、私が主査をさせていただけたらいいのかと思っておりますが、いかがでしょうか。

特に、ご意見があれば。よろしいですか。ほかに特に問題がなければ、私のほうでさせていただければと思います。

第3回目です。保護区の要件の話と重要な生息地の解釈と要件ということなんですけれども、こちらについて、どなたか自薦、他薦がもしなければ、先ほど決まりましたけど、副委員長、源氏田委員のほうにできればお願いできたらと思っておりますが、いかがでしょうか。

○源氏田副委員長 はい、源氏田です。お受けいたします。よろしくお願いいたします。

○林委員長 よろしく申し上げます。

では、8月、9月の第4回目なんですけれども、ステークホルダー協議、社会的弱者からの意見聴取、こちらなんですけれども、ぜひできましたら、新しい副委員長の二宮委員のほうでお願いできたらと思っておりますが、いかがでしょうか。

○二宮副委員長 はい、二宮でございます。

心強いメンバーのお名前が載っておりますので、皆さんにご協力いただいて、まとめることができればと思います。お引き受けいたします。よろしくお願いいたします。

○林委員長 はい、ありがとうございました。

滞りなく、主査が決定させていただいたので、よかったなと思っております。

○西井 ありがとうございます。一度、マイクを引き取らせていただきます。

委員長、ありがとうございました。調整いただきまして。あと、主査をお引き受けいただきました皆様、誠にありがとうございます。

これで第4回目まで主査決まりましたので、それ以降の主査に関しましては、改めて、次回以降の全体会合でご相談をさせていただければと考えております。同じように自薦、他薦の中で、人繰りを決めていければと考えております。

この先、各ワーキンググループの進め方に関しましては、基本、通常のワーキンググループと大きな差はございませんので、資料を事前にお送りさせていただいて、皆様の事前質問をいただいて、回答を作っていくと。で、回答を事前に皆様に共有したうえで、当日を迎えるということでございます。

ます。

またこれも前回会合でご報告のとおりでございますが、質問の一問一答をするわけではなく、事務局から提案させていただく内容に関して、議論を進めさせていただければというふうに考えております。

過去の説明の繰り返しになってしまって恐縮ですが、先ほど源氏田委員からも今年は忙しくなりそうだというコメントがありましたが、今年は結構これが重要な作業になってくるかと思います。ご負担をおかけしますが、何とぞよろしくお願いいたします。

これでガイドライン運用見直しの議論は一旦終わりにさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○林委員長 ありがとうございます。

それでは、最後の議題ですけれども、今後のスケジュール確認ということで、次回全体会合は9月4日ということになっておりますが、事務局のほうから補足はありますか。

○池上 はい、9月4日14時からということで、会議室での参加者を、第9期についてもお待ちしておりますので、お願いできればと思います。

○林委員長 ありがとうございます。

それでは、今日用意された議題が全て終了いたしましたので、これで第181回全体会合を終了させていただきます。

ありがとうございました。

閉会 14:43